

# 三井住友・ げんきシニアライフ・ オープン

【運用報告書(全体版)】

(2024年5月28日から2024年11月25日まで)

第 49 期

決算日 2024年11月25日

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	無期限（設定日：2000年5月26日）
運用方針	主として日本の取引所上場株式に投資することにより、信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本の取引所上場株式
当ファンドの運用方法	<p>■高齢化社会が生み出す新ビジネス、新技術あるいは様々なニーズ等をシルバービジネスとしてとらえ、こうした分野に注目して事業を展開していく企業の株式を中心に投資し、信託財産の成長を目指します。</p> <p>■高齢化社会における成長分野・成長企業等をリサーチします。</p>
組入制限	<p>■株式への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>■外貨建資産への投資は行いません。</p>
分配方針	<p>■年2回（原則として毎年5月および11月の25日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。</p> <p>■分配対象収益額は、経費控除後の利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは主として日本の取引所上場株式に投資することにより、信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) T O P I X		株式組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(東証株価指数、 配当込み)	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
45期(2022年11月25日)	8,690	0	9.0	3,301.39	9.0	95.7	27,253
46期(2023年5月25日)	9,059	0	4.2	3,561.64	7.9	97.6	25,809
47期(2023年11月27日)	9,835	0	8.6	3,996.55	12.2	97.3	23,793
48期(2024年5月27日)	10,776	200	11.6	4,695.68	17.5	97.4	19,528
49期(2024年11月25日)	11,327	200	7.0	4,664.40	△0.7	97.6	17,715

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) T O P I X		株式組入 比率
		騰落率	(東証株価指数、 配当込み)	騰落率	
(期首) 2024年5月27日	円 10,776	% —	4,695.68	% —	% 97.4
5月末	10,844	0.6	4,710.15	0.3	96.4
6月末	11,321	5.1	4,778.56	1.8	98.0
7月末	11,440	6.2	4,752.72	1.2	97.3
8月末	11,526	7.0	4,615.06	△1.7	97.6
9月末	11,615	7.8	4,544.38	△3.2	97.5
10月末	11,605	7.7	4,629.83	△1.4	97.8
(期末) 2024年11月25日	11,527	7.0	4,664.40	△0.7	97.6

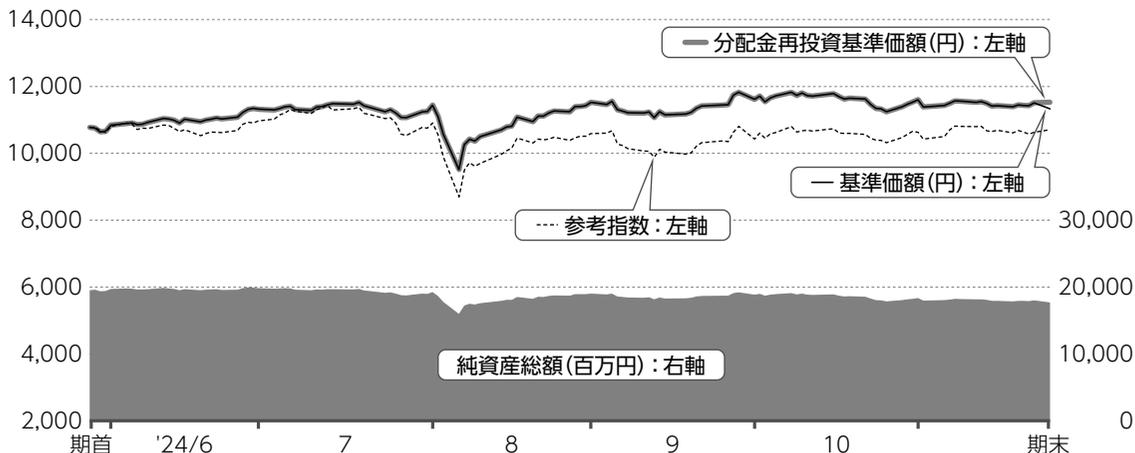
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年5月28日から2024年11月25日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	10,776円
期末	11,327円 (既払分配金200円(税引前))
騰落率	+7.0% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、TOPIX(東証株価指数、配当込み)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

**基準価額の主な変動要因(2024年5月28日から2024年11月25日まで)**

当ファンドは、主として日本の取引所上場株式の中で、高齢化社会が生み出す新ビジネス、新技術あるいは様々なニーズ等をシルバービジネスと捉え、こうした分野に注目して事業を展開していく企業の株式を中心に投資しました。

**上昇要因**

- SWCC、パルグループホールディングス、I D & Eホールディングスの株価が上昇したこと

**下落要因**

- エーザイ、浜松ホトニクス、リオンの株価が下落したこと

投資環境について(2024年5月28日から2024年11月25日まで)

国内株式市場は、期を通じて見ると概ね横ばいとなりました。

期初は、米ドル高・円安の進行、米長期金利の低下などが支えとなったものの、国内企業の慎重な業績見通しが重石となり、レンジ相場が続きました。

夏場にかけては、乱高下する展開となりました。米ドル高・円安の一段の進行や米国株高を背景に、日本株も史上最高値を更新しました。しかし、日銀の利上げ決定と追加利上げへの警戒感の高まりや、米国の景気後退懸念が生じたことで、米ドル安・円高が加速し、

記録的な大幅下落に転じました。その後、過度な警戒が和らぎ急速に反発し、米ドル安・円高の一服、F R B (米連邦準備制度理事会)による金利引き下げ、中国の景気刺激策の発表などを受けて持ち直す展開となりました。

期末にかけては、米国の新大統領に選出されたトランプ氏の政策に対する期待や懸念、米ドル高・円安の進行、地政学リスクの高まりなど、好材料と悪材料が入り混じり、レンジ相場となりました。

ポートフォリオについて(2024年5月28日から2024年11月25日まで)

●業種配分

サービス業、医薬品の組入比率を引き上げた一方、精密機器、その他製品の組入比率を引き下げました。

●個別銘柄

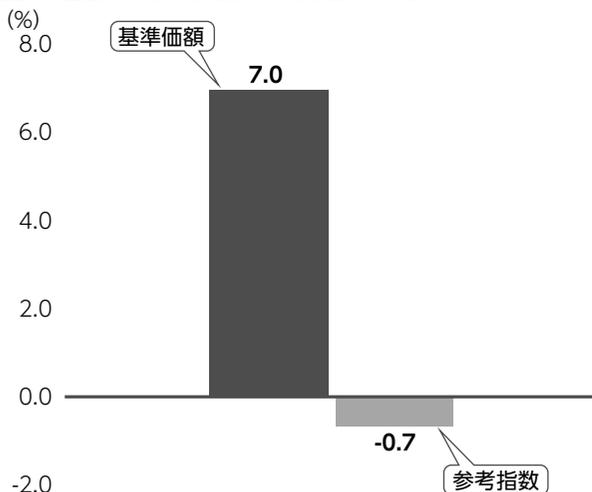
富士フィルムホールディングス、MARUWA、タムロンなどを売り付けた一方、日油、参天製薬、日本新薬などを買い付けました。

●ポートフォリオの特性

高齢化社会の進展で恩恵を受ける企業という観点から投資を行った結果、サービス業、電気機器、医薬品の構成比率が高位となりました。

## ベンチマークとの差異について(2024年5月28日から2024年11月25日まで)

## 基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてTOPIX(東証株価指数、配当込み)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

## 分配金について(2024年5月28日から2024年11月25日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第49期
当期分配金	200
(対基準価額比率)	(1.74%)
当期の収益	200
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,664

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

国内の株式市場は、レンジの動きを予想します。世界景気は、一部の地域・国で減速の動きが見られるほか、米次期トランプ政権の政策等が金融市場や政治情勢に及ぼす影響への警戒はあるものの、FRBによる利下げや中国における景気刺激策などが下支えし、底堅く推移すると考えます。国内政局は不透明ではあるものの、野党と一部政策面での連携や協力などによって景気に配慮した政策は続くと考えられます。底堅い内外景気を背景に、企業業績も次年度に向けて改善基調で推移す

ると考えます。ただし、当面は、内外の経済指標や政局などを踏まえ、世界景気や企業業績の耐性を見極めていく局面と考え、株式市場は一進一退の展開を予想します。

日本における高齢化は中長期で重要なテーマであり、シルバービジネスは引き続き成長が見込まれる有望な投資テーマであるとみています。引き続き、高齢化社会が生み出す新ビジネス、新技術あるいは様々なニーズ等に着目し、投資銘柄を選定します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

## 1万口当たりの費用明細(2024年5月28日から2024年11月25日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	92円	0.815%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は11,260円です。
( 投 信 会 社 )	(43)	(0.386)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
( 販 売 会 社 )	(43)	(0.380)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(6)	(0.049)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.021	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
( 株 式 )	(2)	(0.021)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
( 株 式 )	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 公 社 債 )	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.001	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.001)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
( そ の 他 )	(-)	(-)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	94	0.838	

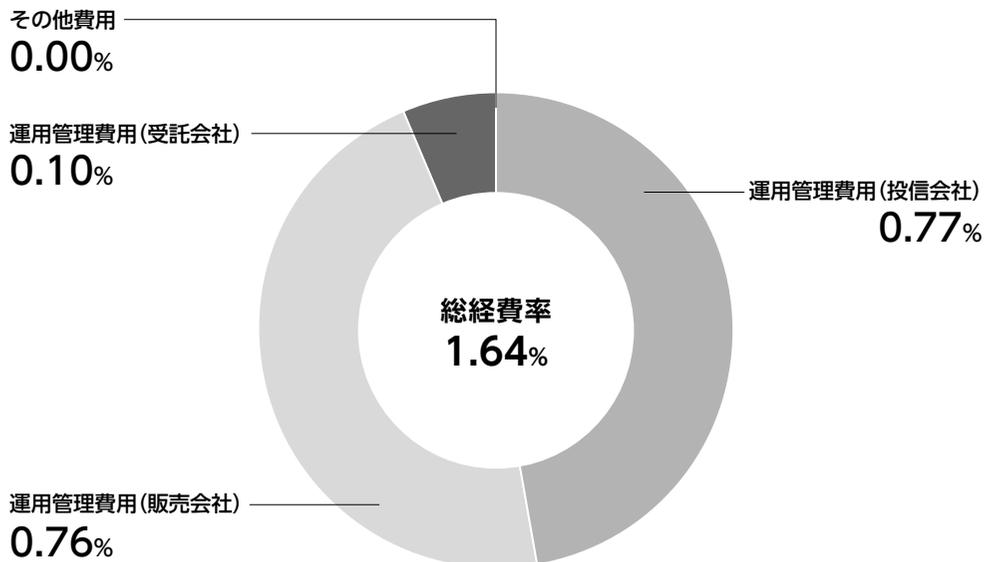
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.64%です。

## ■ 当期中の売買及び取引の状況(2024年5月28日から2024年11月25日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上 場	千株	千円	千株	千円
		531 (627.9)	1,274,470 (-)	1,086	4,228,582

※金額は受渡し代金。

※( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年5月28日から2024年11月25日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	5,503,052千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	18,691,211千円
(c) 売買高比率 ( a ) / ( b )	0.29

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

## ■ 利害関係人との取引状況等(2024年5月28日から2024年11月25日まで)

(1)利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株 式	百万円 1,274	百万円 137	% 10.8	百万円 4,228	百万円 558	% 13.2

(2)売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料総額	4,031千円
(b) うち利害関係人への支払額	562千円
(c) (b) / (a)	13.9%

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2024年5月28日から2024年11月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2024年11月25日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
<b>建設業(1.0%)</b>			
東鉄工業	—	52.7	168,113
<b>繊維製品(4.2%)</b>			
富士紡ホールディングス	62.5	62.5	335,625
セーレン	106	106	288,426
ゴールドウイン	11.9	11.9	101,269
<b>化学(11.4%)</b>			
日本曹達	49	98	263,032
大阪ソーダ	37	185	277,315
旭有機材	53.9	59.9	257,570
日油	—	183.2	414,490
太陽ホールディングス	97.5	97.5	413,887
富士フィルムホールディングス	153.9	—	—
上村工業	12.4	12.4	139,748
バルカー	63.2	63.2	207,612
<b>医薬品(11.5%)</b>			
武田薬品工業	84.4	86.5	359,321
アステラス製薬	120.9	120.9	190,054
塩野義製薬	18.8	—	—
日本新薬	—	52.1	214,287
中外製薬	94.6	26.9	174,769
エーザイ	32.4	32.4	150,757
ロート製薬	53	53	151,686
参天製薬	—	211.6	353,583
東和薬品	43.5	43.5	121,800
第一三共	59.6	59.6	274,517
<b>ガラス・土石製品(4.7%)</b>			
MARUWA	13.9	—	—
フジミインコーポレーテッド	58.8	58.8	141,766
ニチアス	84	84	499,044
ニチハ	59	59	170,746
<b>非鉄金属(3.4%)</b>			
SWCC	102.7	76.7	589,056
<b>機械(6.9%)</b>			
芝浦機械	56.6	56.6	212,816

銘柄	期首(前期末)	期末	
	株数	株数	評価額
SMC	0.7	—	—
ユニオンツール	33.6	33.6	182,784
クボタ	108.5	108.5	209,025
アマノ	79	79	341,280
スター精密	135	135	245,700
<b>電気機器(11.8%)</b>			
SEMITEC	47.2	47.2	82,977
オムロン	59	66.4	326,289
富士通	135	135	377,190
EIZO	48.5	97	211,363
ソニーグループ	18.7	—	—
santec Holdings	39	39	259,740
マクセル	76	76	127,908
リオン	60.6	60.6	147,136
日本セラミック	71	71	188,008
芝浦電子	29	58	191,400
浜松ホトニクス	35.3	70.6	126,444
<b>輸送用機器(1.0%)</b>			
太平洋工業	129	129	172,215
<b>精密機器(2.9%)</b>			
日本エム・ディ・エム	155.3	155.3	94,267
島津製作所	58.3	—	—
ナカニシ	68.2	68.2	156,928
タムロン	54.5	—	—
松風	58.8	117.6	245,196
<b>その他製品(2.0%)</b>			
アートネイチャー	155.2	155.2	125,401
SHOEI	68.4	—	—
アシックス	22.2	—	—
オカムラ	111	111	220,446
美津濃	34	—	—
<b>倉庫・運輸関連業(0.9%)</b>			
安田倉庫	79.5	95.4	156,265
<b>情報・通信業(5.1%)</b>			
NECネットエスアイ	124.5	124.5	407,115
ソフトウェア・サービス	12.2	12.2	168,848

## 三井住友・げんきシニアライフ・オープン

銘柄	期首(前期末)	期末	
	株数	株数	評価額
D T S	74	74	305,250
<b>卸売業(6.3%)</b>			
シッヘルスケアホールディングス	81.5	81.5	179,137
コメダホールディングス	141.3	141.3	404,118
P A L T A C	42.4	42.4	182,150
イエローハット	132	132	330,528
<b>小売業(10.9%)</b>			
サンエー	46	92	256,680
バルグループホールディングス	94.4	94.4	281,972
物語コーポレーション	28	28	99,120
あさひ	196.6	196.6	305,319
コスモス薬品	17.4	34.8	242,242
西松屋チェーン	112	—	—
丸井グループ	97.6	97.6	236,192
イズミ	63	63	196,812
ケーズホールディングス	185.7	185.7	260,537
<b>その他金融業(0.7%)</b>			
プレミアグループ	48	48	121,008
<b>不動産業(1.3%)</b>			
ヒューリック	197	—	—

銘柄	期首(前期末)	期末	
	株数	株数	評価額
ジェイ・エス・ビー	85.6	85.6	228,723
<b>サービス業(14.1%)</b>			
コシダカホールディングス	184	184	209,576
プレステージ・インターナショナル	203	203	133,777
シーティーエス	34	34	31,178
ラウンドワン	397	377.6	385,907
リゾートトラスト	188	163.4	485,134
クリーク・アンド・リバー社	113.3	113.3	180,826
フルキャストホールディングス	84.2	84.2	121,079
チャーム・ケア・コーポレーション	171	171	213,579
ベルシステム24ホールディングス	183	183	234,789
カープスホールディングス	170	170	136,170
I D & E ホールディングス	35.2	35.2	228,096
応用地質	30	30	73,170
合計	株数・金額	千株	千円
	銘柄数<比率>	7,071.9	17,298,296
		83銘柄	75銘柄
			<97.6%>

※銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ■ 投資信託財産の構成

(2024年11月25日現在)

項目	期	末
	評価額	比率
株	千円	%
株	17,298,296	94.9
コール・ローン等、その他	937,367	5.1
投資信託財産総額	18,235,664	100.0

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年11月25日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	18,235,664,263円
コール・ローン等	669,160,881
株 式 (評価額)	17,298,296,350
未 収 入 金	113,350,536
未 収 配 当 金	154,856,496
(B) 負 債	519,822,613
未 払 収 益 分 配 金	312,816,660
未 払 解 約 金	51,961,066
未 払 信 託 報 酬	154,769,887
そ の 他 未 払 費 用	275,000
(C) 純資産総額 (A - B)	17,715,841,650
元 本	15,640,833,028
次 期 繰 越 損 益 金	2,075,008,622
(D) 受 益 権 総 口 数	15,640,833,028口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	11,327円

※当期における期首元本額18,122,850,964円、期中追加設定元本額356,990,514円、期中一部解約元本額2,839,008,450円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2024年5月28日 至2024年11月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	211,538,398円
受 取 配 当	211,138,510
受 取 利 息	396,426
そ の 他 収 益 金	3,462
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,107,695,986
売 買 益	2,044,664,477
売 買 損	△ 936,968,491
(C) 信 託 報 酬 等	△ 155,044,887
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	1,164,189,497
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,653,047,457
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 429,411,672
( 配 当 等 相 当 額 )	( 99,762,639)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 529,174,311)
(G) 合 計 (D + E + F)	2,387,825,282
(H) 収 益 分 配 金	△ 312,816,660
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	2,075,008,622
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 429,411,672
( 配 当 等 相 当 額 )	( 99,762,639)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 529,174,311)
分 配 準 備 積 立 金	2,504,420,294

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	186,684,703円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	977,504,794
(c) 収益調整金	99,762,639
(d) 分配準備積立金	1,653,047,457
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,916,999,593
1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	1,864.99
(f) 分配金	312,816,660
1 万 口 当 た り 分 配 金	200

## ■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。